

令和 7 年度上半期 指定管理者管理運営状況シート

●施設の概要

施設名	東児童センター	所管課	子ども未来部子ども支援課
所在地	岐阜市大洞桜台 1 丁目 33 番地 2		
指定管理者名	社会福祉法人 岐阜市社会福祉事業団		
指定期間	令和 4 年 4 月 1 日～令和 9 年 3 月 31 日まで		
選定方法	☒ 公募 ☐ 非公募		
料金制	☐ 使用料 ☐ 利用料金 ☒ 料金徴収なし		
指定管理委託料(年額)	16,312,000 円		
施設の設置目的	児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、又は情操を豊かにすることを目的とする。		
施設概要	◇構造:鉄骨造平屋建 ◇敷地面積:1,659.48 m ² ◇延床面積:315.23 m ² ◇施設内容:遊戯室、幼児集会室、図書学習室、静養室、事務室、 駐車場(センター西隣駐車場、岐阜市大洞桜台市営住宅駐車場)		

●利用状況

		R7 上半期	R6 下半期	R6 上半期	R5 下半期	R5 上半期
利用者数 (単位:人)	来館者数	4,779	4,654	4,477	3,731	2,975
	移動児童館利用者数	142	79	230	164	124
各室稼働状況	移動児童館実施回数(単位:回)	※3(1)	※4(3)	※8(6)	※6(6)	※5(3)
	開館日数(単位:日)	156	151	154	151	155

※実施回数(施設未設置地区実施回数)

●業務の履行確認

区分	確認事項	履行状況
利用者サービス	①開館日・開館時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④苦情への対応 ⑤仕様書、事業計画書に基づく事業の実施	①適正に実施しています。 ②常勤職員 3 名、非常勤 2 名、うち児童厚生員を 3 名配置しました。 ③乳幼児向けのイベント案内や実施の様子などをInstagram などを活用し、情報提供しました。 ホームページにより、最新情報を提供しました。(上半期更新回数 13 回) 児童用「げんき」、乳幼児保護者用「えがお」のおたよりを毎月発行しました。担当エリアの小学校をでは全児童へ配布していただき、自治会では住民へ回覧していただくとともに、公民館、コミセンに配架しました。「えがお」は、ツナグテ、北保健センターに配架し、地元スーパーにも掲示していただきました。 ④ご意見箱を玄関ロビーに設置し、利用者からのご意見・ご要望をいただけるようにしています。(ご意見箱による意見・要望は 0 件) また、「苦情解決の仕組み・苦情の申出先」を館内に掲示し、苦情に対し適切に対応することができる体制としています。 ⑤仕様書、事業計画書に基づき事業を実施しました。
自主事業 提案事業		
施設管理	①施設設備の保守点検の実施 ②施設の衛生管理に対する配慮、快適に利用できる状態の保持 ③省エネルギー並びに環境への負荷の軽減に努め	①管理者点検マニュアルに基づき、保守点検を適切に行いました。 ②職員による日常清掃、就労継続支援 B 型の事業所による週 2 回の清掃、年 2 回の草刈り、施設管理業者による年 2 回の清掃、エアコン清掃、野外遊具の点検を実施しました。 快適に利用していただくため、適切な室温管理と換気に気を配りました。 ③節水、節電に心掛けるとともに、廃材を活用した工作や遊びを

	ること ④施設・設備・備品等の維持管理	工夫しました。 ④施設の安全点検月 1 回、AED 点検月 2 回、玩具、備品の清掃及び整理整頓を実施しました。
施設修繕	下記の観点からの修繕実施状況 ①迅速・適切な修繕の実施 ②指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備	①動きが悪くなったトイレ引き戸の戸車を交換しました。(職員) 小便器排水管のつまり、手洗い水栓の水漏れを改修しました。(業者) 防犯カメラ 1 基を修理しました。(業者) ②軽微なものは職員で対応し、専門性があるものは早期に業者に依頼しました。
危機管理 法令遵守	①個人情報の保護 ②非常時の対応策 ③関係法令の遵守	①、②、③、岐阜市社会福祉事業団個人情報保護規程、災害対策マニュアル、児童福祉法関係法令を遵守し適切に実施しました。 個人情報が記載された用紙は、情報が漏洩しないようシュレッダーにより処分しました。 消防法に基づく消防訓練を 1 回実施しました。

●利用者評価

利用者アンケート の実施状況 及び実施結果	＜保護者用(一般来館・クラブ参加)アンケート＞									
	【期間】		令和7年 7 月 20 日 ～ 8 月 27 日							
	【回答者数】		50 人							
	【校区】		芥見東: 19 人 芥見: 11 人 岩: 7 人 三輪南: 3 人 長良西: 2 人 その他市内: 6 人 その他市外: 2 人							
	【年齢】		10 代: 0% 20 代: 20% 30 代: 66% 40 代: 10% 50 代以上: 4%							
	【評価】									
	(あいさつ)		満足: 96%		ほぼ満足: 4%		普通: 0%		やや不満: 0% 不満: 0%	
	(言葉づかい)		満足: 96%		ほぼ満足: 4%		普通: 0%		やや不満: 0% 不満: 0%	
	(利用者対応)		満足: 92%		ほぼ満足: 6%		普通: 2%		やや不満: 0% 不満: 0%	
	(利用しやすさ)		満足: 80%		ほぼ満足: 20%		普通: 0%		やや不満: 0% 不満: 0%	
	(整理整頓)		満足: 90%		ほぼ満足: 10%		普通: 0%		やや不満: 0% 不満: 0%	
	(清潔感)		満足: 90%		ほぼ満足: 10%		普通: 0%		やや不満: 0% 不満: 0%	
	(換気)		満足: 90%		ほぼ満足: 10%		普通: 0%		やや不満: 0% 不満: 0%	
	○その他アンケートの内容と結果は、別紙のとおり。									
	＜小・中・高校生用アンケート＞									
	【期間】		令和7年 7 月 20 日 ～ 8 月 27 日							
	【回答者数】		50 人							
	【学年】		小学: 1 年 2 人 2 年 15 人 3 年 4 人 4 年 2 人 5 年 7 人 6 年 13 人 中学: 1 年 3 人 2 年 4 人 3 年 0 人 高校: 1 年 0 人 2 年 0 人 3 年 0 人 無回答: 0 人							
	【学校名】		芥見東小 32 人 芥見小 10 人 藍川東中 4 人 藍川中 3 人 その他市内 1 人 その他市外 0 人							
	○その他アンケートの内容と結果は、別紙のとおり。									
利用者からの 要望・苦情と 対処・改善	・授乳クッションが欲しいです。→ 衛生面を考慮し、導入は難しいです。 ・0 歳児が遊べるおもちゃがもう少し欲しい(メリーなど)。→ 近日中に購入を予定します。 ・0 歳児向けのイベントを増やしてほしい。→ 新しいイベントを企画していきます。良いアイデアがあったらお知らせください。 ・ニンテンドースイッチがほしい →あまり高いおもちゃやゲームを買うことはできません。高くなくてもみんなで楽しめるおもちゃをさがして買ってきますので、楽しみにしてください。 ・夢をかなえて → 夢をかなえるお手伝いができたらうれしいです。 ・エアガンがほしい → 大変危険をとまなうので、買うことができません。 ・遊戯室にバスケットゴールを追加して → 市役所と相談してみます。 ・お菓子を持ってきててもよいことにしてほしい → 児童センターには赤ちゃんや小さなお子さんもいます。こぼれたお菓子を食べてしまったりアレルギーになることがあるので、お菓子を持ち込むこと自体を禁止しています。 ・ポケモンカードを売ってほしい → ごめんなさい、児童センターでは販売していません。									

●指定管理者の選定基準に基づく評価（東児童センター）

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
公平性 透明性	住民の平等利用が確保されること	①平等利用を確保するための体制、モニタリングなど	・利用者アンケートの実施 ・運営委員会の開催	A	A	A
		②情報公開、広報の方策	・利用者アンケート結果の公表 ・広範で適切な情報提供・広報活動の実施	S	S	S
		区分評価				S
効果性	事業計画書の内容が、対象施設の効用（設置目的）を最大限発揮するものであること	③既存業務の改善、工夫又は新規事業等の実施	・業務改善や工夫又は新規事業（行事）等の実施	S	S	S
		④利用者ニーズ、苦情などの把握方法、対応方策及びサービスの質を確保するための体制	・利用者のニーズ、苦情の把握 ・利用者のニーズ、苦情、クレームへの着実な対応・運営への反映	S	A	A
		⑤利用者に対するサービス向上の方策（窓口対応、プロモーション、設備の整備など）	・移動児童館の実施 ・利用者へのサービス向上に繋がる方策の実施	S	S	S
		⑥利用促進、利用者増の方策	・利用促進や利用者増に繋がる方策の実施	S	S	S
		⑦施設の効用（設置目的）を最大限発揮できるスタッフの配置	・過不足ない適正な人数配置、無理のない職員体制	A	A	A
		区分評価				S
効率性	事業計画書の内容が、管理経費の縮減が図られるものであること	⑧指定管理経費の妥当性	・収支計画の妥当性及び適正な予算執行	A	A	A
		⑨管理経費縮減の具体的方策	・管理経費縮減に繋がる方策の実施（リサイクルやリユース、節水・節電など）	A	A	A
		区分評価				A
安定性 安全性	事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	⑩組織及びスタッフ（採用予定者も含む）の経歴、保有する資格、ノウハウ、専門知識等	・児童厚生員を2人以上、その他の職員（施設が児童センターの場合は体力増進指導に関し知識技能を有する者）を1人以上配置（このうち最低1人は常勤職員とすること）	A	A	A
		⑪スタッフ（採用予定者も含む）の管理、監督体制	・職員の連携体制、職場環境の整備	A	A	A
		⑫スタッフ（採用予定者も含む）の人材育成の方策	・職員の資質向上を図る研修の実施又は研修会への参加	A	S	S
		⑬リスクへの対応方策（利用者の安全確保策、防止策、非常時の対応マニュアルなど）	・危機管理（リスク）や非常時対応のマニュアルの整備 ・リスク防止策の実践	A	S	S
		区分評価				S
貢献性	事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域（以下「地元」という。）の振興、活性化などに貢献できるものであること	⑭地元の法人その他の団体の育成（一部業務の再委託先）、地元住民の活用（雇用又はボランティア等）	・地元の諸団体との連携、交流 ・地元の法人その他団体の育成又は地元住民・高齢者・障がい者等の活用	S	S	S
		⑮地元での社会活動等への参加	・地元の振興、活性化などに貢献できる社会活動等への参加（地元行事への参加）又は地元の団体・住民との協働事業等の実施	S	S	S
		区分評価				S

●指定管理者の取組みに対する自己評価(良否、課題と解決策など)

今期の取組み に対する評価	□広範で適切な情報提供・広報活動の実施(公平性・透明性②) 広範で適切な情報提供・広報活動の実施 ・インスタグラムなどの活用(再掲②⑥) 乳幼児向けのイベント案内や実施の様子などをインスタグラムなどを活用し、情報提供しました。開催結果を多く投稿するようにしたところ、投稿直後に参加申し込みをいただいたり、投稿を見て初めて参加していただいたりすることができました。また、2～3 か月周期で行う「パパと遊ぼう」・「ブラレール」や未登録制幼児クラブ「0 歳児の広場」では、担当エリア外から来館される方も多く、幅広い広報の効果を得ることができました。(上半期投稿数 30 件、いいね 92 件、フォロワー 239 人) ・ホームページでの情報提供(再掲②⑥) ホームページにより、最新情報を提供しました。(上半期更新回数 13 回) ・児童館おたよりの発行・回覧・配架・掲示(再掲②⑥) 児童用「げんき」、乳幼児保護者用「えがお」のおたよりを毎月発行しました。担当エリアの小学校をでは全児童へ配布していただき、自治会では住民へ回覧していただくとともに、公民館、コミセンに配架しました。 また、「げんき」と「えがお」を 1 枚の裏面刷りとし、かさばらず見やすくなったとともに、経費の削減にも繋がりました。さらに「えがお」は、ツナグテ、北保健センターに配架し、地元スーパーにも掲示することで、担当エリア外の多くの方にも関心を持ってもらうことができました。 ・来館者への広報活動(再掲②⑤⑥) 来館保護者に、毎月のおたよりをお渡しし、イベント情報を伝えました。 小学生には、製作の見本を展示し見てもらうことで、宣伝活動をしました。見本を見せたり、直接説明したりすることで「私もやってみたい」という声が多くなり、興味を持ってもらうことができました。 ・幼児室掲示板(再掲②⑤) 幼児室の掲示板上に、児童センターからのお知らせや地域の子育て支援情報を掲示しました。月 1 回開催する「おはなし会」をメインに、以前より掲示板を見られる方や質問される方が増えました。 □既存業務の工夫と新規事業の実施(効果性③) 業務改善や工夫 ・「いつでもやってるコーナー」の開催時間の変更(再掲③⑥) 「いつでもやってるコーナー」の 4 月の参加者が昨年度より減ったため、開催時間に来ることができない利用者に、来館すれば参加できるよう時間の限定を無くし利便性を図りました。また、名称も「毎日やってるコーナー」として開催しました。 4 月:こいのぼりを作ろう 20 人 5 月:おおなわとび 48 人 6 月:おみこしの飾りつけ 38 人 7 月:お絵かきコンテスト 11 人 9 月:モビール工作 12 人 ・芥見東夏祭りへの参加(再掲③⑥⑬) 芥見東自治会主催の芥見東夏祭りに参加するため、「毎日やってるコーナー」でおみこしを作成しました。今年は土台から作り直したおみこしを小学生の代表 7 人が担ぎ、地元の子ども園のおみこしと一緒に小学校のグラウンドを練り歩き、お祭りを盛り上げました。 ・乳幼児親子向け行事の開催(再掲③⑥) 乳幼児親子向けの単発行事を、毎月開催しました。 母子モやインスタなどでの広報活動により、初めての来館や担当エリア外から参加してもらうことができました。 0歳児の広場 5 回 76 人 ぴよぴよクラブ 10 回 166 人 すくすくクラブ 12 回 112 人 なかよしクラブ 12 回 203 人 わくわくお話し会 5 回 48 人 ブラレールで遊ぼう 2 回 38 人 べったんタイム 4 回 17 人 パパと遊ぼう 1 回 4 人 また、8 月には幼児(未就園)を対象として、「ウォーターマット遊び」を行いました。圧縮袋に水と一緒に魚やキャラクターを描いたカードを入れてウォーターマットを作り、子どもたちはマットに乗ることであちこちに動くカードを一生懸命追いかけてながら、ウォーターマットの感触を楽しみました。参加者は親子 22 人 ・ドッジボール大会の開催(再掲③⑥) 子どもたちの大好きなドッジボールを開催しました。 体力的なことを考慮し、低・高の学年に分けて別の時間に設定しました。 ボールに当たったら 1 点というルールの簡素化を図り、チームで高得点を目指して時間いっぱい楽しむことができました。 ・げんきまつりの開催(再掲③⑬) 夏休みに小学生を対象としたげんきまつりを開催しました。 昨年同様の、「ヨーヨー風船つり」「○○すくい」「おかしつり」「缶バッジ作り(母親クラブ)」と、新たに岐阜県レクリエーション協会から「スカットボール」を借用し、合計 5 つのコーナーを作りました。 定員は小学生 50 人とその兄弟で就園児 10 人としたところ、当日は小学生 41 人、就園児 6 人とほぼ予定数となりました。 毎年地域の方々にご協力いただいております。今年も 20 人の方にボランティアとして参加いただき、子どもたちとの交流を深めてもらうことができました。 ・夏休み小学生行事の開催(再掲③⑥⑬) 夏休みの小学生行事には、工作を多く取り入れました。クレパスで色を付けた塩を、クリアカップに順番に入れ色の層を作り、一番上の層には貝殻やビーズなどを並べ木工用ボンドで固めて作る置物「ソルトアート」、紙皿で作る「8 の字風車」など、家庭にある材料で子どもたちが自宅でも作ることができるものを行いました。用意した材料が足らなくなる
--------------------------	--

	くらい、子どもたちには大人気でした。 ・サイエンスショーの開催 元科学館館長によるサイエンスショーを開催しました。 トランプの向きを変えて落ち方の違いを比べる空気抵抗の実験や、ワイングラスに水を入れフチを指でなぞり音を出すグラスハーブなど、新しい実験を子どもたちも体験し、驚き楽しむことができました。 ・大型絵本の活用 岐阜市図書館東分館から大型絵本を借用し、わくわくおはなし会や移動児童館での読み聞かせに活用しました。大きな絵本を前に、子どもたちが喜ぶ姿や集中して見る姿を見ることができました。 □新規事業(行事)等の実施 ・「外国の文化を感じよう」の開催 長良川大学出前講座を活用し、岐阜市国際交流協会の外国人スタッフによる外国の文化紹介を行いました。スタッフはブラジルの出身者、中国の出身者、フィリピン生まれでサウジアラビア育ちの3人で、プロジェクターを使い、ブラジル、中国、サウジアラビアの国の特徴や文化を紹介したあと、サンバの踊りや中国の伝統的な遊びをみんなで行之、普段では知ることがない外国の文化に触れることができました。 ・「モルックにチャレンジ」、「手作りモルックで遊ぼう」の開催 岐阜県レクリエーション協会の指導者派遣事業を活用し、母親クラブで「モルックにチャレンジ」を開催しました。母親クラブの参加者が指導者からレクチャーを受け、簡単なルールで子どもから大人まで幅広く競技することができるモルックで、ゲームの駆け引きの面白さを楽しむことができました。 その後、小学生を対象とした「手作りモルックで遊ぼう」を開催しました。木の端材で作成した手作りモルックを使用し、「モルックにチャレンジ」でルールを習得した母親クラブ員が、子どもたちにモルックの楽しみ方を伝え、一緒に世代を超えてモルックを楽しむことができました。 ・「五目並べで遊ぼう」の開催 昨年まで地元ボランティア講師により実施していた「チェスにチャレンジ」が、講師がご高齢により開催不可となったため、職員が教えることができる「五目並べ」を開催しました。五目並べ自体を知らず初めは興味を示さなかった子も、プロジェクターを使用しルール説明を行ったところ、戸惑いながらも基石を並べていくうちに、先の手を読むことを覚え繰り返し対戦するようになりました。 ◎子どもたちの主体的な活動の場、話し合いの機会等の提供を行ったか。 ・げんきまつりの準備会に向けて、小学生と中学生が絵の具を看板に色付けしてくれ、個性あふれる楽しそうな看板を作成しました。 □利用者のニーズニーズ、苦情、クレームクレームへの着実な対応、運営への反映(効果性④) アンケートでご要望をいただいた新しいおもちゃの購入として、乳幼児用には、「スマート知育ジム&ウォーカー」、ボタンを押すとふたが開いてキャラクターが飛び出す「パカッとピョン」、いくつかのボタンの一つを押すと別のボタンが出る無限ボタン「ポコポコスタップ」、「トミカの動物園」、「はたらく車セット」、小学生用には「リカちゃん人形」と「洋服」を購入しました。また、乳幼児用の新しいイベントとして10月に保健士さんから感染症予防の講義や離乳食について相談を受けることができる講習会を計画しました。 授乳用クッションの購入の要望がありましたが、衛生面を考慮し購入できない旨を説明するなど、ご理解をいただけるよう努めました。 □移動児童館の実施(効果性⑤) 動児童館の実施 回数:4回 ・子ども会や放課後児童クラブとの連携(再掲⑤⑭) 移動児童館として、子ども会や放課後児童クラブの活動に協力しました。 ・東部コミュニティーセンター「親子でリズムあそび」 東部コミュニティーセンターでは、東部地区主任児童委員と合同主催の「親子でリズムあそび」を行いました。ベビーダンスの講師を招き、子どもを抱っこしながら軽快な音楽に合わせてダンスを行い、お母さんがリフレッシュすることができました。その後、お子さんとのふれあい遊びを紹介しました。 ・芥見東小学校放課後児童クラブ 芥見東小学校放課後児童クラブでは、1回目に紙コップと紙皿を使った「ポンポンクラッカー」を作り、絵本の読み聞かせを行いました。2回目は牛乳パックを使った「ひかりの箱」を作り、絵本の読み聞かせを行いました。子どもたちは自分で作った作品で友だちと遊び、楽しそうな姿を見せてくれました。 ・岩公民館夏休みイベント(再掲⑤⑮) 岩公民館の夏休みイベントでは、紙コップと紙皿を使った「ポンポンクラッカー」を作り、大型トランプを公民館のホール一杯に広げて神経衰弱をするなど体を使った遊びを紹介しました。東児童センターが遠方でなかなか来ることができない子どもたちに、児童センターの楽しさを知ってもらうことができ、岩地域の児童民生員から、今後は子ども会の行事として実施して欲しいと依頼を受け、3月に実施を予定しています。 □利用者へのサービス向上に繋がる方策の実施(効果性⑤) ・来館者への広報活動(再掲②⑤⑥) ・幼児室掲示板(再掲②⑤) ・遊戯室の適正利用 子どもたちが遊戯室を平等に利用できるよう、遊戯室予約表を事務室入口ドアに掲示しました。子どもから予約を受け記入することで、どの時間に誰が利用するかや、重複して利用しないか一目でわかるようになりました。また、遊戯室に時計がなかったため、壁に職員自作の時計を設置し、子どもたちが自分で時間管理ができるようにするとともに、温度湿度計を設置し、空調管理を実施しました。 □利用促進や利用者増に繋がる方策の実施(効果性⑥) ・インスタグラム、母子モの活用(再掲②⑥) ・ホームページでの情報提供(再掲②⑥) ・児童館おたよりの発行・回覧・配架・掲示(再掲②⑥) ・来館者への広報活動(再掲②⑤⑥) ・「いつでもやってくるコーナー」の開催時間の変更(再掲③⑥)
--	---

	・芥見東夏祭りへの参加(再掲③⑥⑮) ・ドッジボール大会(再掲③⑥) ・乳幼児親子向け行事の開催(再掲③⑥) ・夏休み小学生行事の開催(再掲③⑥⑮) 以上のように既存業務の改善や工夫、乳幼児親子の行事の増加、インスタや母子モでの宣伝活動により、行事の参加者が増加しました。 また、日常の職員と子どもたちとの関わりを大切にしてきたことで、平日の利用者が増加しました。 R7 上半期総利用者数は 4,779 人で、対前年 107% 増となりました。(4 月～9 月) □地元の諸団体との連携、交流(貢献性⑭) ・げんきまつりの開催(再掲③⑭) ・子ども会や放課後児童クラブとの連携(再掲⑤⑭) ・子ども食堂の活動支援 地元で月 1 回実施されている子ども食堂のチラシを児童センターに配架して、子ども食堂に興味のある方にチラシを渡しています。 □地元の振興、活性化などに貢献できる社会活動等への参加(貢献性⑮) ・芥見東夏祭りへの参加(再掲③⑥⑮) ・子ども 110 番の家の登録(再掲⑬⑮) ・芥見東まちづくり協議会への参加 ・芥見東公民館運営委員会への参加 ・岐阜版アダプトプログラムへの参加 岐阜版アダプトプログラムに参加し職員が児童館周辺道路の清掃活動を定期的に実施しています。 □地元の団体・住民との協働事業等の実施(貢献性⑮) ・岩公民館夏休みイベント(再掲⑤⑮)
前回までの意見を踏まえた取組み状況	□父親も来館しやすい環境づくりを進め、父親や家族での利用数が増えている点は評価できる。 お父さんが参加しやすいイベントを企画していきます。 □幼児室のリノベーション後、幼児だけでなく、小学生にも月 1 回、読み聞かせを行っている点は評価できる。 小学生が幼児に対して読み聞かせを行うイベントを増やしていきます。
今後の取組み	・引き続き利用者のニーズの把握に努め、事業に取り入れていきます。 ・子どもたちの意見を聞きながら、児童館がさらに楽しく居心地の良い場所になるよう考えていきます。 ・安心安全に利用していただけるよう、整理整頓や掃除を行います。また、感染症やその他体調不良などでのご利用について、おたよりなどを通じてお伝えしていきます。 ・大型絵本などを活用した児童向け読み聞かせの会を開催します。

●所管課の意見

- 小学生向けの「いつでもやってるコーナー」の開催時間の設定をなくし、時間内に来られなかった子も参加できるようにするなど参加者増の改善を行っている。
- 施設長の前職の経験を活かし、岐阜市国際交流協会の外国人スタッフによる外国の文化の紹介を行うなど新たな取り組みを行っている。

●指定管理者評価委員会の意見

- 国際交流協会の外国人スタッフとの交流の場を設けるなど、子どもたちの異文化への理解と共感を深める取り組みを行っている点は評価できる。
- その他、すべての評価項目が業務要求水準以上となっており、適正に管理運営が行われている。